

# 金山町議会だより



第226号

令和6年8月8日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341

〔6月定例会 会期6月14日～18日〕

- ・6月定例会……………2
- ・議案等審議結果一覧・お知らせ……………3
- ・一般質問 6人が登壇……………4～9
- ・要望書提出・議員管外視察報告……………10
- ・町民懇談会・議員交流会……………11



大蛇出現

8月3日～4日 沼沢湖水まつり

# 6月定例会

6月定例会は、6月14日から18日にかけて開催され、一般会計補正予算・人事など10議案、報告3件、議員提出議案3件が提案され、原案の通り可決されました。

一般質問は、6人の議員により行われました。

## ●補正予算（主なもの）

### 一般会計・歳出

定額減税調整給付金  
1,400万円

（提案理由）

6月から開始の定額減税（所得税分3万円、住民税分1万円）対象者について給与の源泉所得等で定額減税（納税義務者及び控除対象配偶者又は扶養親族1人につき4万円で算出）しきれない方に、差額を調整給付金として支給するため。

対象者には支給確認書を9月下旬頃発送予定。  
（担当：住民課住民係）

おもてなし支援事業  
補助金 600万円

（提案理由）  
宿泊施設、飲食店、小売店の新築・増改築等補助金。今後2回目募集のため。

（担当：商工観光課）



古民家を活用した新規の宿泊施設

児童手当 157万円

（提案理由）  
子ども子育て世帯への支援の拡充のため、10月から

①所得制限の撤廃

②支給年齢が15歳から18歳までに延長

③第3子以降月額1万5千円から3万円に拡充

④支給月4か月ごとから2か月ごとへ等、要件、内容が拡充されるため。

（担当：保健福祉課福祉係）

妊婦にやさしい遠方  
出産支援事業 56万円

（提案理由）

妊婦の経済的負担の軽減を図るため、遠方の分娩取扱施設で出産される際の交通費、宿泊費を支援するため。

（担当：保健福祉課保健係）

水沼地区水道施設  
修繕補助金 35万円

（提案理由）

水沼地区管理の水道本管修繕事業補助。

（補助率1/2）  
（担当：建設課上下水道）

台湾プロモーション  
事業 480万円

（提案理由）

台湾からの観光関連従事者招聘、台湾での食のイベント開催、PR用動画の作成等観光PRのため。

（担当：商工観光課）



2月訪問台湾新北市金山区

国道289号八十里  
越街道開通に向け  
247万円

（提案理由）

令和8年開通見込み。新潟県民向けの観光PRを行い観光客の誘客を図るため。

（担当：商工観光課）

## 報告

### （株）奥会津金山大自然 経営状況について

（町が出資している法人は地方自治法により毎年度、経営状況を説明する書類を作成し、議会に提出しなければなりません。）

問 決算報告書の監査報告ですが「適法正確であること」を認めます。」とあるが、大規模な株式会社でもあり監査役からの意見書はあるのか。

答 町長 報告書以外の意見書はありません。経営そのものに踏み込んだような監査の意見をいただきたい旨は伝えます。

問 外部監査役を入れ、きっちりした決算書のあり方、今後の方向性が必要ではないか。

答 町長 町が大株主であり、会社につきり伝え実際できるようなしたいと思いません。

問 町になくはならない法人であることは、農家の皆さん分かってます。ただもう14期、今年

で15期目です。450万円の運営費補助金のあり方、再考しませんか。もうやめませんか。危機感を持ってもらうために。自立してもらうために。いかがですか。例えば別な事業（例、耕作放棄地解消のため）だったら分かりますが。

答 町長 来年度から新たな支援の仕組みを作っていくとと考えています。

## 人事

◆金山町教育長の任命  
について同意しました。

押部秀隆  
（八町・新任）

任期は8月1日から3年間。



# 議案等審議結果一覧 (一部を掲載しました。)

※議長は、採決に加わりません(賛否が同数の場合には議長が採決します)  
 ※賛成「○」 反対「×」

件名	議決結果	大竹一樹	加藤賢享	安藤雅朗	加藤夕子	坂内譲	栗城康太郎	横田正敏	五ノ井義一
<b>■第4回定例会(6月定例会) 令和6年6月14日～18日開催</b>									
令和6年度金山町一般会計補正予算(第1号)(2ページに主な補正掲載)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
契約締結に関する議決について(かねやまネットテレビ設備更新事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
財産の取得について(スクールバス(25人乗り)購入事業)	可決	○	○	○	○	○	○	○	
金山町教育長の任命に関する同意について(2ページ下段に掲載)	同意	無記名投票により採決(賛成7票、反対0票)							
<b>■報告</b>									
株式会社奥会津金山大自然経営状況報告について									
<b>■陳情</b>									
国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	
「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出を求める陳情	可決	○	○	○	○	○	○	○	
<b>■議員提出議案</b>									
国に対し「学校給食費無償化を実施することを求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
「地方財政の充実・強化を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	
「国の『被災児童生徒就学支援等事業』の継続と被災児童生徒の十分な就学支援を求める意見書」の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	

議長は採決には加わりません

## 議会会議録・一般質問動画(録画) 町公式ホームページ掲載のお知らせ



↑会議録はこちら



↑動画配信はこちら

### 議会会議録について

議会日よりでは一般質問について紙面の都合によりすべてを掲載できません。ホームページには全文記載されていますので是非、ご覧ください。  
 (金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会会議録](#)

[令和6年議会会議録](#)

### 一般質問の動画配信(録画)について

各議員(質問者)ごとに動画を見ることができます。一般質問の時間は50分です。本会議での質問、答弁をそのまま配信しています。是非、ご覧ください。  
 (金山町ホームページ画面)

[暮らしの情報>](#)

[金山町議会>](#)

[目次](#)

[議会動画配信](#)

[令和6年一般質問](#)



# おお たけ かず き 大竹一樹議員の

## 一般質問

# 今後の政策について

## 持続できる施策を打ち出すー町長

若い世代の危機感を共有したいという意図で質問いたします。

町民の安心安全な生活を守るためには、社会情勢に柔軟に対応できる、持続可能な行政として変化し続けていく必要があると考えます。

問① 主要道路をレンタサイクルや歩行する観光客、自転車が必要と考

えるが。

答 町長 国道、町道沿いには、特に初夏以降は雑草が走行車線内へはみ出すこともあり危険を感じる場所があるかと思

問② 観光の担い手を確保し郷土愛を醸成するため、観光庁が推進する「観光教育」に力を入れるこ

答 町長 学校教育の重点施策にある「ふるさと教育の充実」を掲げて、郷土の良さを理解し、郷土を大切に

「観光教育」について

は、近年、観光庁が提唱している事業であり、地域の観光について学ぶ中で、郷土に貢献する児童生徒を育成しようとするもので、将来の担い手づくりや定住に繋がるものと考えております。

問③ 職員の働きやすさや若手人材の確保の観点から、業務のデジタル化を進めて行くべきと考え

答 町長 町では、行政手続きを中心に可能な業務からデジタル化の推進に取り組んでいるところ

れた人員の中でよりよい

行政サービスが提供できるように、職員向けのデジタル変革研修を実施しているところであり、今後も引き続きデジタル変革の推進に取り組んで参りたいと考えております。

問 世代によりデジタルへの理解度、特に上の世代の理解度を一定にすることがデジタル変革の第一歩であり若者の働きやすさにもつながるので

答 総務課長 大変良いことであると思

問④ 地域おこし協力隊の募集内容見直しや、課題解決のために外部企業の力を借りることも大切

答 町長 町では、これまでに16名が協力隊員として活動を行って

隊については、町での雇用という形態から業務委託という形態に改め、より活動内容に合った形としました。

協力隊の募集については、町ホームページでの周知のほか、主に首都圏で開催される協力隊や移住希望者向けのイベントに参加するなどの方法を実施して

を始めたところで、今後も協力隊の募集方法などについて、随時、見直しを行って参ります。企業に所属する人材を活用する制度としては、総務省が行っている「地域活性化企業人制度」があります。諸課題解決に有効と判断した場合は、積極的に制度を活用して行きたいと思



ふるさと教育の充実・稲作体験活動  
金山小児童による田植え(大志地区)



# 有害鳥獣対策について

## 電気柵の早期設置が有効——町長

増え続ける鳥獣に駆除が追いつかないこと、猟友会員の高齢化など様々な問題があり、第五次総合計画にも被害防止対策の強化や捕獲等の担い手確保が喫緊の課題として挙げられています。

**問①** 農林水産業等への被害の現状をどのように捉えているか。また、被害防止に対する今後の取り組みを伺う。

**答** 町長 現在、電気柵の購入補助を行い、農作物被害の防止に努めております。また放任果樹の伐採、緩衝帯の設置による鳥獣を寄せ付けないための対策、更に、ツキノワグマを中心に個体数調整を図るための捕獲事業を行っております。これらの取り組みにより、この数年は大きく低減している状況で推移しております。被害は減少傾向にあります。

**問②** 不足している有害鳥獣駆除に従事する人員確保についての対策は。

**答** 町長 有害鳥獣駆除に従事するために必要な資格を取得する必要がありますが、県が実施する福島県狩猟免許試験開催案内をお知らせ版に掲載し町民等へ周知しております。また、初期費用や資格維持に必要な経費の負担が大きいことから、狩猟者資格等取得補助事業により支援を行いながら、有害鳥獣駆除に従事する方を確保して参ります。

# 観光振興と若者定住について

## 好循環につながるよう進める——町長

地域の活力を維持し発展させるためには国内外からの交流人口を拡大させ、町内での観光消費を増大させ、町内経済の活性化につなげる必要があります。

**問①** 観光振興を若者定住につなげる取り組みについて。

**答** 町長 観光振興を若者定住に繋げていくことは重要だと理解しています。就労の場として町に定住し観光関連の仕事をされている方が複数人おられることから、より一層振興を図る必要があると考えています。

また、町単独事業でも、只見線沿線の撮影ポイント周辺の樹木の伐採を行うなど、景観の改善に取り組んでいるところであります。今後も継続的に田畑、山林などの景観の維持、回復に努めて参ります。

**問②** 宿泊施設不足についての対策は。

**答** 町長 短期的な対応策として既存の宿泊施設の拡充と民泊の促進を図るため、おもてなし支援事業を立ち上げました。長期的な解決策として、

**問③** 町内の景観整備についてどのような対策をしているか。

**答** 町長 農地については、多面的機能支払交付金や中山間地域等直接支



空き家の古民家をゲストハウスに再利用  
(町のおもてなし支援事業活用) (玉梨地区)



ばん ない ゆずる 坂内 議員の

一般質問

若者定住とは

町では、近隣町村に先駆けて若者定住促進条例をつくり、若者の定住促進を目的に、地域産業の振興、研修・交流・イベント事業、快適な生活環境の整備等様々な支援をしています。

問① 平成元年の施行です。条例を見直す考えは。

答 町長 若者定住を促進するため、若者を大事

にしたい、支援したいという基本的な考えは、現在も変わっていませんが、条例施行から35年が経過しており、社会情勢も大きく変わっています。今後、内容を精査し、時代にあった内容に修正して行きたいと考えています。

問② 条例による効果

は。 答 町長 全国的に少子化が進み、若者が地方から都市部に流出している状況の中、町が実施してきた各種支援事業については、若者の支援に一定の効果があったと理解しています。今後も、社会情勢の変化を見定めながら、適切な支援を行って参ります。

条例の見直しをしていきたいー町長

問③ 町で言う「若者」のくくりの目安は何か。

答 町長 法律上規定された区分はありませんが、現在の町の若者定住促進条例では16歳以上、40歳未満としております。

問 16歳以上、40歳未満の人口は割合で約12%。

生産年齢15歳以上65歳未満の人口は割合で約35%になり、若者定住促進条例とは別に、働いて地域を支えている人に対しての支援が必要ではないのか。 答 町長 年齢の範囲も含めて考えていく必要はあります。

空き家対策について

空き家の増加抑制につながったー町長

国内の空き家の総数は約900万戸となっており、増加しています。町でも増えつつある現状で、空き家対策の施策について伺います。

問① 今までの空き家対策の総括と、今後5年後の予想は。

答 町長 直近5年間で、空き家件数は300

件未満で推移し、令和5年度末で296件です。

これまでに空き家対策として空き家解体補助を59件、空き家改修補助を17件実施、空き家バンク事業で21件が成約となっています。これらの実績から、実施してきた施策は空き家の増加抑制に効果があったと考えております。

高齢化が進む町内では、今後も新たな空き家が発生することが予想されますので、引き続き、空き家対策に努めていくとともに、民間で実施される空き家や空き店舗などを活用した事業に支援を行い、地域活性化に繋がりたいと思います。

問② 他の自治体で参考

にしたいた空き家対策の事例はあるか。 答 町長 町では、空き家の解体や改修支援と合わせて、空き家の利活用も目指していますので、空き家を資源として活用し、実績を上げている事例について参考にして行きたいと考えております。



金山町移住支援センター主催 移住者交流会(納豆づくり)

# 町づくりについて

## 視点は引き継がれているー町長



町民体育館入口脇の「少年とペリカン」(中川地区)  
以前は周りが池でペリカンから水がでていました

前回、3月定例会一般質問において、町づくりは長い年月をかけて継続することが大切であることから「妖精の里」の取り組みについて質問しました。町は様々な取り組みを実施されますが、短期間の内にいつのまにか終わってしまい、継続されない施策があまりにも多いと感じています。

町民にとっては、納めている税金の使い方に無

駄がないかを知ることでも大事なことであると思います。そこで、具体的な事業について始めた目的は何か。現状はどうなっているのか。今後どう考えているのかを伺います。

問① 「こぶし館のそば打ち実演コーナー」

答 町長 「こぶし館は町内の農産物の消費拡大や当町の食文化の継承のための施設で、そばを中心として提供することから、そば打ちの実演を通して観光客の集客に努めて来ましたが、簡易的な設備だったため、衛生面での保健所の指導もあり、廃止に至った経過があります。

問② 「スキー場裏側太郎布のあすなろ館」

答 町長 都市と山村の交流を積極的に展開するための施設として、オー

ブン当初は、冬期間のスキーヤーの休息施設として開放し、室内では地域特産物の展示販売などをしていました。現在は、郡山市の団体が利用しています。今後も引き続き有効活用について研究していかなければならないと考えています。

問③ 「町民体育館の少年とペリカン」

答 町長 町が、郡山市出身の高名な彫刻家である三坂耿一郎(みさかこういちろう)氏に制作を依頼したもので、ペリカンの口から水が出る仕組みであり、体育館前の池を潤していました。給水管の老朽化に伴い水道を閉栓し、さらに安全面を考慮し池の埋め立てを行いました。銅像設置の目的は、体育・スポーツは文化の一部と見なされ、その文化的意義を象徴的に表現することであ

ります。また、作者が著名な彫刻家であり、今後も町民体育館前を飾る貴重な芸術作品として未永く残していきたいと考えております。

問④ 「小栗山の水車小屋」

答 町長 子供たちの体験の場所として、生活体験館、ホテル園の一部として整備を行いました。しかし、維持管理に多大な経費が掛かり、費用対効果を考慮した結果、現在の形になっています。現在は、町内の任意団体が魚のふ化等魚族研究の場として活用しながら、公園の維持管理を行っています。今後は、同団体と協議しながらより良い活用を模索していきます。

問 「妖精の里」について、始めた目的、現状、今後の方針について伺い

ます。

答 町長 町では、大蛇退治の伝説や沼沢湖に代表される豊かな自然を取り入れ、新しい観光産業を作り出し、地域の活性化を目指す取り組みとして、平成2年に「妖精の里づくり」を宣言し、これまで、沼沢湖周辺に妖精美術館などの観光施設を整備するなど「妖精の里」をキーワードにしたまちづくりに取り組んで参りました。近年は、「妖精」を前面に出した事業は、少なくなっている状況ですが今後も、宣言当時の「豊かな自然を取り入れた地域の活性化」という視点は、現時点でも引き継がれておりますので、その視点を持って各種事業に取り組んで参ります。



あん どう まさ あき  
安藤雅朗議員の

## 一般質問

# 町農業の課題について

## 優良な農地は守っていくー町長

農業を取り巻く経営環境は、農業構造の大きな変化、担い手農業者の高

齢化、米価下落による農業所得の減少、有害鳥獣被害による営農意欲の減退などで非常に厳しい状況にあります。

中山間地域の農地の役割は、食糧生産機能だけではなく、良好な景観形成、洪水防止機能、土砂崩壊防止機能等多岐に及び、国土を維持するにも

非常に重要な存在だといえます。

非常に重要な存在だといえます。

問① 2025年3月が期限となっている地域計画策定の状況は。

答 町長 計画策定については農業委員、農地利用最適化推進委員が中心的な役割を担うため、5月の農業委員会において、座談会開催について担当地区の区長との調整を依頼しております。

問② 町として景観整備の一環で維持すべき、守りたい農地を決めて、耕作者がいなければ、率先して(株)奥会津金山大自然に入っていたら、圃場の条件が悪ければ、優先的に圃場整備する。このような考え方は。

答 町長 経営的には大変厳しいですが、農業法人が関われば雇用も生まれます。優良な農地を最低限は守っていかなければならないと考えます。

問③ (株)奥会津金山大自然への支援と今後の経営方針について。

答 町長 現在、大自然は、育苗約69ヘクタール、乾燥調製作業61ヘクタール分を担っております。認定農業者や集落営農組織などの中心経営体、小規模な農家とも役割分担をしながら、大自然が地域農業の中核として機能するよう町としても支援の在り方を検討しております。また大自然は、雇用の受け皿としても重要な役割を担っております。

問② 有害鳥獣被害対策について。

答 町長 過去データの有害鳥獣被害対策について。

問③ (株)奥会津金山大自然への支援と今後の経営方針について。

答 町長 現在、大自然は、育苗約69ヘクタール、乾燥調製作業61ヘクタール分を担っております。認定農業者や集落営農組織などの中心経営体、小規模な農家とも役割分担をしながら、大自然が地域農業の中核として機能するよう町としても支援の在り方を検討しております。また大自然は、雇用の受け皿としても重要な役割を担っております。

問③ (株)奥会津金山大自然への支援と今後の経営方針について。

答 町長 現在、大自然は、育苗約69ヘクタール、乾燥調製作業61ヘクタール分を担っております。認定農業者や集落営農組織などの中心経営体、小規模な農家とも役割分担をしながら、大自然が地域農業の中核として機能するよう町としても支援の在り方を検討しております。また大自然は、雇用の受け皿としても重要な役割を担っております。



水田の荒廃が年々進んでいます(中川地区)  
にほんの里100選(2008年 朝日新聞社)

問 景観整備の一環として

地域計画では、守るべき農地と非農地化する農地を区別し、守るべき農地は、各集落営農組織の共同活動によって景観維持が行われている農地を想定しております。また、非農地化していく農地は、農業委員会において非農地と判断された農地となりますので、これらを地域計画に反映させたいと考えております。

問② 有害鳥獣被害対策について。

答 町長 過去データの有害鳥獣被害対策について。

問③ (株)奥会津金山大自然への支援と今後の経営方針について。

答 町長 現在、大自然は、育苗約69ヘクタール、乾燥調製作業61ヘクタール分を担っております。認定農業者や集落営農組織などの中心経営体、小規模な農家とも役割分担をしながら、大自然が地域農業の中核として機能するよう町としても支援の在り方を検討しております。また大自然は、雇用の受け皿としても重要な役割を担っております。

問③ (株)奥会津金山大自然への支援と今後の経営方針について。

答 町長 現在、大自然は、育苗約69ヘクタール、乾燥調製作業61ヘクタール分を担っております。認定農業者や集落営農組織などの中心経営体、小規模な農家とも役割分担をしながら、大自然が地域農業の中核として機能するよう町としても支援の在り方を検討しております。また大自然は、雇用の受け皿としても重要な役割を担っております。





# 行政区長報償費の引き上げを

## 改定に向け進める ― 町長

令和6年1月1日から、人口減少に伴う議員のなり手不足などに対応し、県内の状況を踏まえ、議員報酬が見直された。またこれに準じ、各種委員報酬も見直された。

しかしながら、区長様と呼ばれ住民からの全幅の信頼を寄せられ、住民お一人お一人の相談相手となり、役場からの多くの委託業務を担う行政区

長の区長報償について、見直されていない。思い切った増額を望むが町長の見解を伺う。

割として9万円、世帯割として当該行政区1世帯につき3,200円をお支払いしております。行政区長は、町と町民との間の連携を密にし、

効果的な行政を推進するために、町から委嘱し、多くの連絡調整やご協力をお願いしております。現在の報酬額は、平成22年に改定された金額で

す。今年度から各種委員等の報酬額も引き上げを行っている状況です。令和7年度からの改定に向けて、調整を行って参ります。

# 簡易水道事業会計について

## 経営環境は非常に厳しい ― 町長

問① 公営企業が必要なサービスを将来にわたって安定的に提供していくためには、中長期的な視点にたった計画的な経営基盤の強化と財政マネジメントの向上等に取り組むことが大切と考えるがどうか伺う。

ますますの増加が見込まれ、一方では人口の減少に伴う料金の減収も想定され、経営を取り巻く環境は非常に厳しい現状です。

町では来年度、「金山町簡易水道事業経営戦略」の改定を行います。平成28年度策定した計画の改定で、今後10年間の水道事業の収支計画や事業計画を、30年後の将来人口や水需要の推移、施設の老朽化を見込んだ上で、施設の合理化や料金改定の必要性も含めて見直すものです。この計画によ

り中長期的な視点から、更なる経営の効率化及び健全化に取り組み、安全安心な水道水を持続的に安定的に供給したいと考えています。

問② 水道は毎日の暮らしになくてはならない重要なインフラであり、適切な施設の稼働が求められることから、水道管の計画的な更新が必要と考えるがどうか伺う。

町内の簡易水道施設全般について、施設の現状を把握し、重要度・優先度を考慮しながら中長期的な更新計画を策定するものです。老朽化対策のみにとらわれず、現実的で支出抑制も考慮した更新計画の策定に努め、持続的な経営の確保を図っていきたいと思います。

横田議員からは、この他に「景観の保全について」の質問がありました。



本名地区から上田地区までの水道水を供給  
1日約400tの水が使用されます  
(川口簡水水源・太郎布地区)

しかし、管路、ポンプ、配水池等設備の老朽化による更新や維持補修に係る経費については、今後

町長 町は「金山町簡易水道事業アセットマネジメント(資産管理)計画」を策定する予定です。

町長 町は「金山町簡易水道事業アセットマネジメント(資産管理)計画」を策定する予定です。

# 議長・副議長から 町長へ要望書提出

7月2日に「電気料金等対策実施を求める要望書」を、議会として町長に提出いたしました。町長からは「国・県の動向も見極めながら、注視し取り組んでいきたい。」との回答を頂きました。



(写真 中央：五ノ井議長 右側：押部町長  
左側：横田副議長)

金山町長 押部源二郎 様

令和6年7月2日

金山町議会議員 五ノ井 義一

## 電気料金等対策実施を求める要望書

東北電力は6月使用分からの家庭向け電気料金が過去最高にあります。昨年導入された国の激変緩和措置による減額(国の補助金)が7月から廃止されるのに伴い、料金上昇のためです。

地球温暖化現象の中、これから夏本番を迎え、エアコン等による暑さ対策で電気の使用量が大幅に増加すると見込まれます。食料品を始め諸物価高騰の折、電気料金の上昇は、町民の日常生活を更に圧迫するものです。

町では、令和3年度高齢者の熱中症を防ぐため、65歳以上の高齢者世帯(町民税非課税世帯)を対象に「エアコン整備費助成事業」を実施し、多くの世帯にエアコンが整備されました。

金山町議会として、町に対し早急な電気料金等対策について、以下の項目について強く要望いたします。

### 記

- 1、一般家庭に昨年導入された国の激変緩和措置による減額(国の補助金)に代わる町独自の支援制度を速やかに検討し、実施すること。
- 2、町内事業者の省エネルギー推進に資する設備(省エネ設備)の更新に要する経費の補助制度について検討し、実施すること。

## 常任委員会管外視察研修報告(概要)

総務文教常任委員会

産業建設常任委員会合同

・実施日 令和6年7月

8日～10日

視察先 高知県梼原町

①空き家活動事業

(梼原町)

所有者から町が12年間借り上げ、住宅の整備・管理運営を行い、移住定住者等に使用いただく。



研修風景

### ②集落活動センター

集落活動センターとは、中山間地の近隣の集落どうし(旧小学校区単位を想定)が連携しながら、生活・福祉・産業・防災などの活動について、地域ぐるみで、旧小学校や集会所等を拠点として、地域おこし協力隊や集落支援員など、地域内外の人材を活用した集

落づくりのための仕組みで、行政からの支援があります。

地域の課題は少子高齢化、人口減少による地域の担い手不足などの要因による集落機能の維持が厳しい状況にあるなど当町と同じ課題があります。

・おちめん「越知面区」住み続けられるための集落維持、そのための移住希望者の受け入れなど「今、やれることをやる」活動を行っています。

・四万川「四万川区」 「地域を担う組織づくり」「施設建設」の考えでガソリンスタンド事業、葬祭事業、雉(キジ)生産事業などに挑戦し持続可能な活動を目指しています。



キジ肉加工施設

視察先 愛媛県西予市

地域づくり活動センター

前述の課題解決のため、行政が「地域づくり交付金制度」をつくり厚い補助金支援と人的配置を行い、多くの事業を実施しています。

・「かりとりもさくの会」(明浜町狩江地区)

100年後も続く地域を目指し、空き家利活用、かんきつ農家、石垣修繕、教育旅行受入れなど多くの活動を行っています。



活動状況を熱く語る担当者

詳細については、9月定例会での各常任委員長報告を次回議会だよりに掲載いたします。

## 町民との懇談会

金山町議会では、町民の皆さんとまちづくり、地域づくり、地域課題等について懇談し、議員活動に活かしていくため今年度「おらほの議員としゃべってみませんかの会」を各地区で開催を予定しています。合同開催「中川(板下・宮崎)地区、大志地区、上田地区」された内容について紹介します。

### 議長のおいさつ

「開かれた議会」を目指している中で

●町民の声を町政に届けるには、議会から地域に向いて地域の皆さんの思いを教えてください。その思いで会を開催しました。

### 空き家対策について

(参加者の声)

地区の半分くらいは空き家です。解体された家もあるが、空き家が増えつつある。地区で3年に1度程度所有者に空き家利用(売買、賃貸など)のアンケートを出してい

く過ごして欲しい。

### 農業(畑・水田)のSDGsについて

只見線からよく見える中川の水田、今までの耕作者ができなくなった。面積が小さい、泥田、水路の流れも悪いなど条件が悪い。今年は何名で耕作している。仲間と農用地組合を作り議論している。農業全体のSDGsが課題。

る。空き家バンクへの登録や貸したり売ったりの話も少しずつでている。なかなか一足飛びには進まない。何か良い手はないものか。

### 只見線について

運営費に毎年約1,300万円町で支出している。只見線を盛り上げたいと思っているが、以前はイベント列車等のアナウンスがあったが最近はない。町民は何で知ればいいのか。

川口・こぶし館間の道路や歩道、お客さんが歩いたりレンタサイクルで通っているが草が酷いところがある。観光で町に来てくれる人に気持ちよ



6月4日 中川ゆうゆう館で開催  
議員8人全員参加で意見交換をしました

●妖精の里商品券。年間総額2億円、他町村から見ればすごく頑張っている。

●議会の動画配信。すぐくありがたい。

他に多くの声を聞くことができました。6月定例会で早速「町民の声」を反映した一般質問し、町の考えを聞いた議員もいました。

## 両沼地方町村議会議員交流会に参加

7月17日、柳津町において両沼地方町村の議会議員が一堂に会し、来賓(県会議員、7町村長など)多数の出席を得て開催されました。

両沼地方町村議会議長  
会長(金山町議会議長  
五ノ井義一)あいさつ

・若手議員に町村の垣根を越え広域的な勉強会を立ち上げ、活動して欲しい。

・議員のなり手不足解消に向け環境づくりが必要。  
・若い人材・女性議員を増やすための対策が大切。

会津地方振興局長  
(本田伸雄氏)講演  
演題

会津地方振興局の取組  
・会津地方13市町村を管轄

・令和5年度移住世帯数  
会津348世帯(うち金山町16世帯)、移住者数510人(うち金山町23人)

- ・会津地域の課題
- ①人口減少・少子高齢化への対応
- ②安全・安心な生活環境の確保
- ③地域特性をいかした地域産業の振興
- ④美しい自然との共生と伝統文化の保全・継承



会長あいさつ

(両沼地方は会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・昭和村・金山町の7町村です。)



講演する本田局長



## 「声」をきかせて

議会が新体制になり早くも半年が経過しました。3回目の定例会を終え、「もつと、町民のみなさまと話したい」と感じます。

平成8年(1996年)生まれの私は、この町の自然と人の温かさが忘れられず、5年前に戻ってきました。ここで生まれてよかったと、心から思っています。この地に残っている素晴らしい自然や文化、暮らしが失われないうち、次世代につないでいきたいと考えています。

しかし、昭和35年(1960年)には人口1万人を超えていた金山町も、現在(2024年)は1800人を割っています。当たり前にしてきた生活が、人口減少に伴い維持が困難になってきています。将来はどうなっていくのだろうと考えながら、毎日を過ごしています。

このような状況の中、金山町を後世に残していくためには、町民一人一人が、お住まいの地区、ひいてはこの町の今後を真剣に考えていかなければなりません。なぜこのような課題があるのか、なぜ解決できないのか、解決するためにはどのようなことをいけばいいのか、行政だけではなく町民主体で、全員で考え、行動していくことが大切です。私たち議員は町民の声を町政に届ける「町民の代表」です。みなさまと対話を重ねることで、みなさまのよりよい「声」を町政に届けることができます。

また、議会の活動を分かりやすく共有し、町政を全員で考えていただけるよう、この議会だよりをはじめ、広報活動にも力を入れていきます。さらに今年度から、私たち議員が各地区でみなさまと対話をする「おらほの議員としやべつてみませんかの会」を始めました。インターネットが普及しチャットや電話などで簡単にコミュニケーションが取れる時代だからこそ、ときには顔を合わせて話し合いたいと思っています。

みなさまの安心安全な生活が続けられる金山町にしていくために、議員一同、これから真剣に活動して参ります。どうか、本音の「声」を私たちにお聞かせください。

(大竹一樹)

## 町村議会広報研修会

7月2日、福島市のとうほうみんなの文化センターで開催され議会だより編集特別委員が参加しました。

「議会の“見える化”&住民との“信頼関係”—議会広報の基本と編集—」について研修しました。

少しでも読者に読みやすい、わかりやすい紙面づくりを目指していきます。読者の皆様からのご意見をお待ちしております。



研修会参加の編集委員

## ごあんない

次回の定例会は、9月6日ごろ開会の予定です。

一般質問は9月9日ごろからとなります。

「開かれた議会」を目指しておりますので、皆様お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り  
4階の議場においで下さい。

次回、金山町議会だより第227号は、11月上旬ごろ発行の予定です。	次	委員	委員	委員	編集委員	発行責任者
	回	長	長	長	長	長
	大竹	坂内	安藤	横田	五ノ井	義一
	一樹	雅朗	正敏			